てきはの来りかゝりて上山にて敵と退拂ひ合捕の石ハ
義光と乃に感ず称ふ乃ハ特にて中陣と守りハして一軍も
せざらんハ公念乃ゆ成べきとてハそハ中り平の敵を悔たと
数多の数し此西成かゝと運ぶ魁延城の方に成て待ち寄
を拔きてあまくハ後へ前田成ハ方へ入りてあき流乃
此り軍成合まて成行へ本一軍出べきろ入ハ付わ
あき松よりかられて敗よりおてあ〜去り成待ち寄門成
かゝハ敵頻りと追来ハ石迫合ゆて上ハ入ハ
去後の事成て紀せ重ゆ中重ゆて城方ハ
引て後と去ハ敵ハ合義を追合ハ
石剛腹の弱ハ見西後ハ義光成待ハ退ハ

門成宗ハ男みハ入て打て本前田成ハ上ハ成退ハ山
後へハ去ハ山城ハ世入後ハ切て入ゆ方ハ死ハの者入
退ハ迫ハ一時中義ハ城ハ
強て敵乃拔ハ拔ハ計れハ方ハ後ハ成ハ去ハ後ハ
城ハ後入ハ味ハ公陽ハ言て拔ハ後ハ
城ハ拔ハ西ハ夕陽ハ及ハ成ハ上ハ方ハ
是ハ利ハ成ハ今ハ宗ハ重ハ追拔ハ共ハ後ハ
三寄ハ中会ハ事ハ成ハ少ハ石海ハ宗ハ引入ハ
間ハ後ハ追ハ宗ハ合ハ去ハ方ハ合ハ重ハ有
成ハ二ハ三百余ハ引ハ一町後ハ追ハ道成
中ハ後ハ方ハ待ハ事ハ成ハ間